

2024-2025 SCHEDULE

展覧会スケジュール

小田原のどかつなぎプロジェクト

彫刻家であり彫刻研究者でもある小田原のどかによる2年間の住民参画型アートプロジェクト。2年目の成果は「近代を彫刻／超克する 津奈木・水俣編」で展示します。

プロジェクト期間:4月~1月
展覧会期:9月7日~11月24日



小田原のどかつなぎプロジェクト2023
実行委員会会議



小田原のどかつなぎプロジェクト2023成果展
彫刻選挙ポスター掲示版

柳幸典 入魂の宿

熊本ゆかりの文筆家、石牟礼道子の文学に着想を得た柳幸典の大型屋外作品《入魂の宿》を公開しています。

観覧には前日までにつなぎ美術館公式ウェブサイトの入魂の宿予約専用公式ページでの予約とクレジットカードによる決済または当日のつなぎ美術館受付での申し込みが必要です。電話による申し込みは受け付けていません。期間限定の宿泊に関する情報は、つなぎ美術館公式ウェブサイトでお知らせします。

会場:旧赤崎小学校付近
料金:公式ウェブサイトをご覧ください。



《入魂の宿》2022年

五十嵐靖晃 海渡り

五十嵐靖晃が津奈木町を定期的に訪れ3年がかりで住民とともに完成させた《海渡り》。毎年、秋の弁天祭りに合わせて一定期間だけご覧いただけます。

展示期間:2024年秋
会場:旧赤崎小学校付近
料金:無料

※天候等により展示期間が変わる場合があります。



《海渡り》2023年撮影

1F 展示室

4
April

有料



《石路の花 津奈木町II》
青柳綾 2024年 作家蔵



《ALLELUJAH》
gaju 2023年 作家蔵

4/27(土)~7/15(月・祝)

青柳綾 gaju 二人展
私たちの物語

会えてよかった

熊本に生まれ熊本を拠点に
独学で創作活動を続けてきた
画家の青柳綾と造形作家のgaju
の新作と過去作品を展示します。

5
May

6
June

7
July

8
August



7/25(木)~8/25(日) 熊本の戦後美術'24(収蔵品)
収蔵品の中から、坂本善三、境野一之、瀧田安子など戦後の熊本で活躍した画家の作品を展示します。

《卵たち》瀧田安子 2014年 つなぎ美術館蔵

有料

9
September

10
October

11
November

9/7(土)~11/24(日)

小田原のどかつなぎプロジェクト成果展
小田原のどか

近代を彫刻／超克する 津奈木・水俣編

彫刻家であり彫刻と社会の関係を追究する
研究者でもある小田原のどかが、住民とともに
2か年で取り組むアートプロジェクト「小田原
のどかつなぎプロジェクト」2年目の成果展。

小田原のどかつなぎプロジェクト2023成果展風景



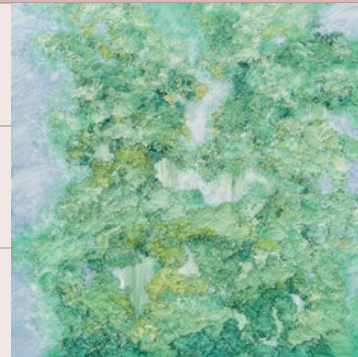
有料

12
December

1
January

2
February

3
March



12/7(土)~2/24(月・祝)
アーティスト・イン・レジデンスつなぎ2024成果展
黄品玲(ホワン・ピンリン)

ざざめく波と木漏れ日:思いがとどまる場所

台湾を拠点に活動する画家の黄品玲(ホワン・ピンリン)を招聘して実施
するアーティスト・イン・レジデンスつなぎ2024の成果展。津奈木町滞在中に
制作した新作を展示します。

《木漏れ日》2023年 作家蔵 ※参考作品

《日々のお No.3》2023年 作家蔵 ※参考作品

3/1(土)~3/9(日) はつのあそびの森こども園 成長展
今を生きる子どもたちの姿を作品や写真等でお伝えします。 主催ははつのあそびの森こども園

無料

3/15(土)~3/30(日) 生の芸術 アール・ブリュット展覧会Vol.10津奈木セレクション
熊本県立美術館にて展示した作品の一部を展示します。 主催:アール・ブリュット パートナース熊本

無料

3F 展示室

無料

4/27(土)~7/15(月・祝)

赤崎水曜日郵便局 水曜日の消息(収蔵品)

2013年から2016年
まで実施したアートプロ
ジェクト「赤崎水曜日郵
便局」に届いた手紙の
一部と小池アミイゴが
描いた書籍「赤崎水曜
日郵便局」の装画・挿絵
を展示します。



2021年 展示風景

7/27(土)~8/25(日)
森田具海 ここで眺める。水俣

熊本ゆかりの若手作家の作品を紹介する「U-39KUMAMOTO」。
水俣市を拠点に近隣の日常を振り続ける写真家の森田具海の新作を
展示します。

U-39
KUMAMOTO

《海岸道路、月浦》2023年 作家蔵



無料

9/7(土)~11/24(日)

ユージン・スミスとアイリーン・スミスが見た
MINAMATA'24(収蔵品)

2021年に収蔵したユージン・
スミスとアイリーン・スミスに
よる作品などの一部を展示
します。

W・ユージン・スミス つなぎ美術館蔵



無料

有料



3/1(土)~5/11(日)
境野一之 はがき絵展(収蔵品)

《南仏・シャンティユ宮殿》1984年 つなぎ美術館蔵

無料

※各展覧会の関連プログラムはフライヤーや公式ウェブサイトなどでお知らせします。 ※掲載内容は変更になる場合があります。
※2025年4月から5月までの間の一定期間は空調設備改修工事のため臨時休館します。日程は公式ウェブサイトでお知らせします。



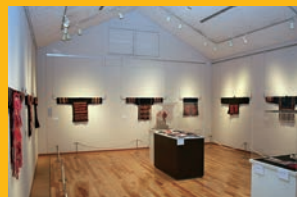
外観



多目的ホール



1階展示室



3階展示室

つなぎ美術館は、熊本県水俣・葦北地域における文化芸術活動の拠点として2001年4月に開館した津奈木町立の美術館です。第二次海老原美術研究所の所長を務めた境野一之をはじめとする熊本県ゆかりの作家による作品やタイ山岳民族の衣装など約450点を収蔵しています。



《薫風》岩野勇三 1987年



《ひまわり》佐藤忠良 1997年



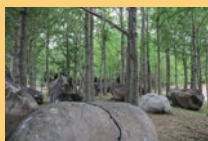
《つなぎの根っこ》浅井裕介 2014~2017年

屋外作品

津奈木町では1984年から「緑と彫刻のある町づくり」に取り組んでおり、町内の要所には佐藤忠良の作品をはじめとする16点の彫刻を展示しています。また世界を舞台に活躍する、西野達、柳幸典、浅井裕介の作品も屋外にてご覧いただけます。



《達仏》西野達 2018年



《石霊の森》柳幸典 2021年



《入魂の宿》柳幸典 2022年

INFORMATION

利用案内

開館時間
10:00~17:00(入館は16:30まで)

休館日
水曜日(祝日の場合は翌平日)、12/29~1/3
※臨時休館する場合があります。

観覧料
展覧会によって変わります。
※水俣市・葦北郡の学校による利用は事前申請により無料。
※津奈木町在住または津奈木町の学校に在籍する小・中学生は無料。

喫茶室
10:00~16:30
※臨時休業する場合があります。

駐車場
13台
※つなぎ文化センターの駐車場もご利用いただけます。

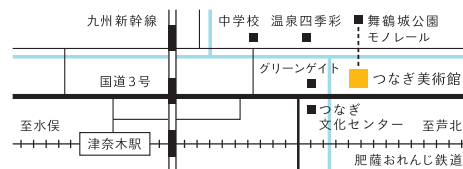
モノレール
美術館と舞鶴城公園展望所を結ぶモノレール(全長241m最高勾配33度)で片道5分のミニトリップが楽しめます。同展望所には野外彫刻が設置しており、晴れた日には不知火海が望めます。2022年に導入した新車両には現代美術家の柳幸典が監修したラッピングが施されています。
往復300円 片道200円



※悪天候・改修工事等により運休する場合があります。

ACCESS

アクセス



- ▶ 肥薩おれんじ鉄道・津奈木駅から徒歩10分
- ▶ 南九州西回り自動車道・津奈木I.C.から車で3分
- ▶ JR九州新幹線・新水俣駅から車で10分



2024.4-2025.3 SCHEDULE & INFORMATION



《メジロ太郎》山本太郎 2022年 つなぎ美術館蔵